



HELLO, NEW CITY.

新しいまちの暮らし

スーパー・スマートシティうつのみや始動

中核市 サミット

2023 in 宇都宮

プログラム

未来世代への責任と実践

～夢や希望がかなう 中核市を目指して～

11/1(水)

【会場】ライトキューブ宇都宮
1F 大ホール
栃木県宇都宮市宮みらい1-20

【主催】中核市市長会

【開催市】宇都宮市

【後援】総務省・栃木県・全国市長会・
全国市議会議長会・中核市議会議長会



ご挨拶



中核市市長会会長
福島市長

木幡 浩
こはた ひろし

中核市サミット、今回は、北関東の拠点都市 宇都宮市で開催します。多大なご尽力をいただいた佐藤宇都宮市長はじめ関係各位に厚く感謝申し上げます。

コロナ禍で人口減少が加速する一方、異常気象はさらに激烈化し、デジタル化も一層早まっています。国をあげて、人口減少対策やGX、DXを強力に進める必要があります。

中核市は、現在62市。国内人口の約2割を占める規模を有し、課題解決を先導的に牽引する役割を担っており、人口減少対策等の課題でも、未来への責任として、その役割を積極的に果たしていかなければなりません。

こうした中、脱炭素先行地域として、LRTを基盤としたスーパースマートシティの実現に取り組むとともに、市をあげて「子どもを守る社会」づくりを進める宇都宮市でサミットを開催し、子どもや脱炭素化の観点から「未来世代につなぐ」まちづくりについて意見交換できることは、大変意義深いと存じます。

サミットを機に、中核市間の連携が一層深まるとともに、各市の人口減少対策やゼロカーボン化の取組が一段と進展することを願っております。



開催県知事
栃木県知事

福田 富一
ふくだ とみかず

栃木県誕生150年そしてLRT開業という記念すべき年に、宇都宮市で中核市サミットが開催されることをお喜び申し上げますとともに、全国各地からお集まりの皆様を心から歓迎いたします。

さて、私たちを取り巻く社会経済環境は、人口減少・少子高齢化の進行、自然災害の頻発・激甚化、新たな感染症の発生など、大きな変化の中にあります。

一人ひとりが将来に夢や希望を持ち、安心して暮らすことができる社会をつくり、未来世代に着実に引き継いでいくためには、デジタル化の急速な進展や世界的な脱炭素化の動きなど時代の潮流を的確に捉え、行政をはじめ、地域社会を構成する多様な主体が、進むべき道筋を共有し連携・協力していくことが必要であります。

このような中、地域を牽引する中核市の市長の皆様が一堂に会され、子どもを守るまちづくりや、脱炭素社会にふさわしい社会経済システムについて、議論を深められることは、大変意義深いことと存じます。

本日のサミットが中核市の更なる発展と、未来世代につなぐまちづくりの実現に向けて、実り多いものとなりますよう心から祈念いたします。



開催市市長
宇都宮市長

佐藤 栄一
さとう えいいち

みなさま、宇都宮市へようこそお越しくださいました。

多くの皆様の御理解と御協力のもと、ここ宇都宮市で初めての「中核市サミット2023in宇都宮」を開催できることは、誠に光栄であり、心から感謝申し上げます。

近年、人口減少・人口構造の変化をはじめ、脱炭素社会構築の社会的要請の強まりなど、社会・経済環境は急速に変化し続けており、社会課題・行政課題がますます複雑化・多様化しています。

こうした中、地域の核となる中核市は、50年先、100年先に生きる「未来世代」への責任を果たすため、先代から引き継いできた家族や地域の絆、人々の営みはもちろんのこと、長い時間をかけ磨き上げられてきた文化や地域資源、安全・安心・便利な生活を支えるために築いてきた都市の基盤などを、政策・施策の実践によりつないでいくことが求められています。

本サミットでは、「子どもを守り『未来世代につなぐ』まちづくり」と、「脱炭素化で『未来世代につなぐ』まちづくり」について議論を深め、その方策を全国に発信することにより、未来世代の夢や希望がかなうまちづくりに寄与してまいりたいと存じます。

開催スケジュール

開会式

13:00～13:30

①主催者歓迎挨拶

中核市市長会会長 福島市長 木幡 浩

②開催市歓迎挨拶

開催市市長 宇都宮市長 佐藤 栄一

③来賓祝辞

総務省自治行政局長 山野 謙 様

中核市市長会相談役 一般財團法人 地方債協会会長 香山 充弘 様

中核市とともに地方分権を推進する国会議員の会 世話役会長 衛藤 征士郎 様

栃木県副知事 北村 一郎 様

④講師・来賓紹介

【基調講演講師】早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

⑤コーディネーター・コメントーター紹介

【第1会場コーディネーター】宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一朗 様

【第1会場コメントーター】宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 蟹江 教子 様

【第2会場コーディネーター】早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 林 泰弘 様

【第2会場コメントーター】早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

⑥役員市長紹介

基調講演

13:35～14:35

未来世代に向けた交通と都市計画

【講師】早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

パネルディスカッション

14:50～16:10

第1会場 子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり

【コーディネーター】宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 石井 大一朗 様

【コメントーター】宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 蟹江 教子 様

【パネリスト】いわき市長、岐阜市長、豊中市長

第2会場 脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり

【コーディネーター】早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授 林 泰弘 様

【コメントーター】早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授 森本 章倫 様

【パネリスト】岡崎市長、奈良市長、松江市長、宇都宮市長

全体会議・閉会式

16:25～17:00

①コーディネーターによるパネルディスカッションの報告 等

②サミット宣言 (宣言文起草、提示、採択、宣言)

③次回開催市挨拶 秋田市長 穂積 志 様

④閉会挨拶 中核市市長会副会長 山形市長 佐藤 孝弘



演題

未来世代に向けた交通と都市計画

〈講師〉 森本 章倫氏

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

【profile】

1964年、山口県生まれ。早稲田大学理工学部土木工学科卒業。博士(工学)、技術士(建設部門)。マサチューセッツ工科大学(MIT)研究員、宇都宮大学助教授、教授などを経て現職。専門分野は「都市計画」、「交通計画」。主な研究テーマは、「環境に優しい交通とまちづくり」「大規模開発と交通アセスメント」で、特に次世代交通、コンパクトシティ、スマートシティ、TOD戦略、交通安全などに取り組む。現在、日本都市計画学会会長、日本交通政策研究会常務理事、防災学術連携体代表幹事。芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会委員長、Uスマート推進協議会会長、「MOVE NEXT UTSUNOMIYA事業推進有識者会議」座長等を歴任。

パネルディスカッション 約80分



〈コーディネーター〉

石井 大一朗氏

宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程修了。博士(政策・メディア)。専門は市民参加論、コミュニティ政策。一級建築士、専門社会調査士。まちづくり塾や空き家のコミュニケーション活用を行うとともに、若者の社会参加プロジェクトを多数実施。栃木県社会貢献活動促進懇談会会長、宇都宮市魅力ある学校づくり地域協議会推進会議座長、宇都宮空き家会議座長など。2児(中3と小6)の父。



〈コーディネーター〉

林 泰弘氏

早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 教授

早稲田大学大学院先進理工学研究科教授、スマート社会技術融合研究機構会長、カーボンニュートラル社会研究教育センター所長。工学博士。専門は電力系統の計画・運用・制御の高度化、再生可能エネルギー・需要家・送配電系統の協調エネルギー・マネジメントシステム。経済産業省次世代の分散型電力システムに関する検討会座長、宇都宮市うつのみやゼロカーボン推進協議会座長等を務める。



〈コメントター〉

蟹江 敦子氏

宇都宮共和国大学 子ども生活学部 教授

お茶の水女子大学大学院修了、博士(社会科学)。現在、宇都宮共和国大学子ども生活学部教授、専門は家族社会学。共著に『学力格差に挑む』(金子書房)、『キャリア・デザインと子育て』(お茶の水学術事業会)などがあり、家庭環境と子どもの発達、ワークライフバランスについて実証的な研究を行っている。宇都宮市男女共同参画審議会委員、栃木県職業能力開発審議会委員などを務める。



〈コメントター〉

森本 章倫氏

早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授

※基調講演欄をご参照ください。

第1会場

〈テーマ〉 子どもを守り「未来世代につなぐ」まちづくり
パネリスト いわき市長、岐阜市長、豊中市長

我が国では、総人口が2008年をピークに減少を続ける中、2022年の出生数が初めて80万人を下回るなど、人口減少・人口構造の変化が進んでおり、将来にわたって活力ある社会・経済を維持していくためには、少子化に歯止めをかけることが喫緊の課題であり、結婚や出産、子育てしやすい環境づくりに地域や企業など、社会全体で取り組んでいく必要があります。

また、全国的に児童虐待相談の件数が過去最多となるなど、子どもを取り巻く環境が深刻化とともに、子どもの貧困やヤングケアラー等の子どもや子育て家庭が抱える問題が多様化・複雑化しています。

本パネルディスカッションでは、人口減少対策としての子育て環境の充実や、子どもの健全育成、児童虐待防止などの子どもの権利の保障等の観点から、どのように子どもを守っていくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

第2会場

〈テーマ〉 脱炭素化で「未来世代につなぐ」まちづくり
パネリスト 岡崎市長、奈良市長、松江市長、宇都宮市長

気候変動により激甚化・頻発化する自然災害をはじめ地球規模で環境問題が深刻化する中で、2015年のSDGsやパリ協定の採択を受け、国際的に環境・エネルギー問題に対する関心が高まっています。

このような時代潮流を踏まえ、日常生活や社会経済活動等における脱炭素化を進めるため、再生可能エネルギーを積極的に創出・利用するほか、二酸化炭素排出量に大きく影響を与える続ける都市・地域構造や社会経済システムを脱炭素社会にふさわしいものに変革していく必要があります。

本パネルディスカッションでは、日常生活等における脱炭素から都市・地域構造の変革などの観点から、どのように脱炭素化を推進していくのか、各中核市の事例発表を基に未来世代につなぐまちづくりについて議論を深めます。

中核市市長一覧

青森市市長



西秀記【にしひでき】

1964年3月5日生まれ。青森市出身。1987年青山学院大学理工学部卒業。2000年㈱西衡器製作所代表取締役社長就任。2011年青森商工会議所副会頭就任。2014年㈱青森総合卸センター理事長就任。2023年6月から現職。

函館市市長



大泉潤【おおいずみじゅん】

1966年生まれ。北海道出身。1990年早稲田大学法学部卒業。1995年函館市勤務。2017年觀光部長、2019年保健福祉部長を経て、2023年4月から現職。

旭川市市長



中核市市長会監事
今津寛介【いまづひろすけ】

1976年生まれ。旭川市出身。99年中央大学経済学部卒業。03年今津寛代議士秘書、18年西鉢恒三郎代議士秘書を経て同年旭川市長選挙へ立候補し次席。翌日から街頭演説開始。20年(一社)旭川ひまちコミュニティ代表理事就任。約800回の演説を行い21年9月から現職。

秋田市市長



穂積志【ほづみもとむ】

1957年生まれ。秋田市出身。82年成蹊大学法学部卒業。87年秋田市議会議員当選(1期)。95年秋田県議会議員当選(4期)。09年4月から現職。

山形市市長



中核市市長会副会長
佐藤孝弘【さとうたかひろ】

1975年生まれ。00年東京大学法学部卒業。同年通商産業省(現経済産業省)入省。03年起業(おにぎり専門店経営)。05年日本経営合理化協会勤務。07年公益財團法人東京財團研究員。15年9月から現職。

福島市市長



中核市市長会会長
木幡浩【こはたひろし】

1960年生まれ。福島県出身。84年東京大学経済学部卒業。同年自治省(現総務省)入省。13年岡山県副知事、15年消防大学校長、16年復興庁福島復興局などを経て、17年12月から現職。

郡山市市長



品川万里【しながわまさと】

1944年生まれ。白河市出身。67年東京大学法学部卒業。同年郵政省入省。東北郵便局長、貯金局長、放送行政局長、郵政審議官(国際担当)を経て、00年大阪大学客員教授。03年(株)NTTデータ副社長、09年法政大学教授、13年4月から現職。

いわき市市長



内田広之【うちだひろゆき】

1972年生まれ。いわき市出身。95年東北大学教育学部卒業。14年東京大学大学院教育学研究科修了。96年文部省入省。17年文部科学省教育改革推進室長、19年福島大学理事・事務局長などを経て、21年9月から現職。

水戸市市長



中核市市長会副会長
高橋靖【たかはしやすし】

1965年生まれ。水戸市出身。明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了。鷦鷯山邦夫議院議員秘書、水戸市議会議員3期、茨城県議会議員2期を経て、11年5月から現職。

宇都宮市市長



佐藤栄一【さとうえいいち】

1961年生まれ。宇都宮市出身。85年明治大学法学部法理学科卒業。社団法人宇都宮青年会議所副会頭などを経て、04年11月から現職。

前橋市市長



山本龍【やまもとりょう】

1959年生まれ。草津町出身。85年早稲田大学商学部卒業。小瀬恵三代議士秘書を経て、95年から群馬県議会議員(3期)、09年から群馬県議会議員(1期)、12年2月から現職。

高崎市市長



富岡賢治【とみおかけんじ】

1946年生まれ。高崎市出身。69年東京大学法学部卒業。同年文部省入省。98年同省生涯学習局長、00年国立教育研究所所長、01年財團法人日本国際教育協会理事長。03年群馬県立女子大学学長を経て、11年5月から現職。

川越市市長



川合善明【かわいよしあき】

1950年生まれ。川越市出身。73年早稲田大学政治経済学部卒業。77年東京教育大学(現:筑波大学)文学部卒業。79年弁護士登録。東京弁護士会副会長等を経て、09年2月から現職。

川口市市長



奥ノ木信夫【おくのきのぶお】

1951年生まれ。川口市出身。75年早稲田大学法学部卒業。91年川口市議会議員(1期)。95年埼玉県議会議員(5期)。09年埼玉県議会議長(第111代)。14年2月から現職。

越谷市市長



福田晃【ふくだあきら】

1975年生まれ。越谷市出身。97年水戸ホーリーホック(サッカーチーム)入団。98年法政大学法学部卒業。00年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社。11年越谷市議会議員(3期)。21年11月から現職。

船橋市市長



松戸徹【まつととおる】

1954年生まれ。八千代市出身。東京理科大学理学部物理学科卒業。78年船橋市勤務。02年秘書課長、07年市長公室長を経て、09年10月副市長就任。13年7月から現職。

柏市市長



太田和美【おおたかずみ】

1979年生まれ。柏市出身。日本大学法学部法律学科卒業。05年千葉県議会議員(1期)。06年衆議院議員(通常3期)。21年1月から現職。

八王子市市長



石森孝志【いしもりたかゆき】

1957年生まれ。八王子市出身。80年明星大学人文学部卒業。95年から八王子市議会議員(3期)。05年から東京都議会議員(2期)。12年1月から現職。

横須賀市長



土地 克明【かみち かつあき】

1954年生まれ。横須賀市出身。77年早稲田大学商学部卒業。同年株式会社ニチリヨウ入社。78年衆議院議員田川誠一秘書。03年横須賀市議会議員(4期)を経て、17年7月から現職。

富山市長



藤井 裕久【ふじい ひろひさ】

1962年生まれ。工学院大学工学部卒業。11年4月富山県議会議員(1期目)。15年4月富山県議会議員(2期目)。19年4月富山県議会議員(3期目)。21年4月より現職。

金沢市長



村山 卓【むらやま たかし】

1972年生まれ。東京都出身。96年慶應義塾大学総合政策学部卒業。同年自治省(現総務省)入省。12年川崎市財政部長。14年香川大学人文社会科学院教授。18年防衛省日米同盟調整企画官などを経て、19年金沢市副市長就任。22年3月から現職。

福井市長



東村 新一【ひがしむら しんいち】

1952年生まれ。福井市出身。75年日本大学法学部卒業。同年、福井県庁入庁。03年政策推進課長、04年人事企画課長、05年総務部企画幹事を経て、06年福井市副市長。07年12月から現職。

甲府市長



樋口 雄一【ひぐち ゆういち】

1959年生まれ。甲府市出身。83年専修大学経営学部卒業。99年より山梨県議会議員(4選)。07年同議会副議長を経て、15年2月から現職。

長野市長



萩原 健司【おぎわら けんじ】

1969年生まれ。92年早稲田大学人間科学部卒業。同年アルペルビル冬季五輪、94年リレハンメル冬季五輪スキーノルディック複合団体金メダル。98年長野冬季五輪スキーノルディック複合団体5位入賞。参議院議員(1期)などを経て、21年11月から現職。

松本市長



臥雲 義尚【がうん よしなお】

1963年生まれ。松本市出身。88年東京大学法学部卒業。同年NHK入社。政治部選挙デスク、選舉プロジェクト長、解説委員等を務める。15年NHK退社。20年3月から現職。

岐阜市長



柴橋 正直【しばはしまさなお】

1979年生まれ。京都市出身。02年大阪大学文学部卒業。同年株式会社UFJ銀行に入行。04年株式会社UFJ銀行退行。09年衆議院議員。18年2月から現職。

豊橋市長



浅井 由崇【あさい よしたか】

1962年生まれ。豊橋市出身。87年早稲田大学政治経済学部卒業。同年東陶機器株式会社(現TOTO株式会社)入社。07年愛知県議会議員(4期)。20年11月から現職。

岡崎市長



中根 康浩【なかね やすひろ】

1962年生まれ。岡崎市出身。85年早稲田大学商学部卒業。88年岡崎市議会議員(1期)。03年衆議院議員(通常4期)。12年経済産業大臣政務官。20年10月から現職。

一宮市長



中野 正康【なかの まさやす】

1967年生まれ。一宮市出身。90年東京大学法学部卒業。郵政省(現・総務省)入省後、新潟県村上郵便局長、EU(欧州連合)日本政府代表部一等書記官。早稲田大学非常勤講師、総務省情報セキュリティ対策室長、株式会社博報堂出向を経て、15年2月から現職。

豊田市長



太田 稔彦【おおた としひこ】

1954年生まれ。豊田市出身。77年早稲田大学商学部卒業。同年豊田市勤務。経営政策本部長、総合企画部長を経て、12年2月から現職。22年東海市長会、愛知県市長会会長。23年全国市長会副会長。

大津市長



佐藤 健司【さとう けんじ】

1973年生まれ。96年同志社大学法学部法律学科卒業。同年NHKに記者として入局。04年大津市議会議員(2期)。11年滋賀県議会議員(3期)。20年1月から現職。

豊中市長



長内 繁樹【おさない しげき】

1958年生まれ。大阪府出身。81年関西学院大学経済学部卒業。83年豊中市に採用される。福祉事務所高齢介護課長、健康福祉部長などを経て、14年豊中市副市長に就任。18年5月から現職。(現在2期目)

吹田市長



後藤 圭二【ごとう けいじ】

1957年生まれ。吹田市出身。80年東京水産大学(現東京海洋大学)水産学部卒業。同年吹田市役所入庁。環境政策室長、道路公園部長等を経て、15年5月から現職。

高槻市長



中核市市長会顧問

濱田 剛史【はまだ たけし】

1964年生まれ。大阪府出身。87年大阪経済法科大学法学校卒業。93年司法試験合格。96年東京地方検察庁検事、大阪地方検察庁検事などを経て、02年検事退官。同年弁護士登録。11年5月から現職。

枚方市長



伏見 隆【ふしみ たかし】

1968年生まれ。枚方市出身。93年京都産業大学経営学部卒業。同年極東貿易株式会社入社。03年枚方市議会議員(2期)。11年大阪府議会議員(1期)。15年9月から現職(現在3期目)。

八尾市長



大松 桂右【だいまつ けいすけ】

1970年生まれ。八尾市出身。88年金光八尾高等学校卒業。99年から八尾市議会議員(4選)。12年同議会議長。19年5月から現職。(現在2期目)23年大阪府市長会監事、大阪府中部市長・副市長会会長。

寝屋川市長



広瀬 慶輔【ひろせ けいすけ】

1970年生まれ。明治大学大学院政治経済学研究科博士前期課程修了、政治学(行政学)修士号取得。99年寝屋川市議会議員(3期)。19年5月から現職。

東大阪市長



野田 義和【のだ よしかず】

1957年生まれ。75年大阪府立花園高等学校卒業。87年東大阪市議会議員(5期)。98年、06年に同議会議長。07年10月から現職。15年から大阪府後期高齢者医療広域連合連合長、21年から大阪府都市競艇企業団企業長(現:大阪府都市ボートレース企業団)。

姫路市長



清元 秀泰【きよもと ひでやす】

1964年生まれ。姫路市出身。92年国立香川医科大学(現香川大学)大学院修了、医学博士取得。12年東北大学教授(医学)。16年日本医療研究開発機構調査役。19年4月から現職。

尼崎市長



松本 真【まつもと しん】

1979年静岡市生まれ。2005年東京学芸大学・大学院卒業、文部科学省入省。2013年内閣官房出身(～2015年)。2018年尼崎市教育長就任(～2021年)。2022年7月文部科学省退職、12月から現職。

明石市長



丸谷 智子【まるたに さとこ】

1963年生まれ。2020年3月同志社大学大学院総合政策科学研究所博士(後期)課程博士学位取得。2015年明石市議会議員当選(2期)。2023年5月から現職。

西宮市長



石井 登志郎【いしい としろう】

1971年生まれ。94年慶應義塾大学総合政策学部卒業。同年㈱神戸製鋼所入社。99年ベンシルバニア大学大学院公共政策課程修了。01年参議院議員政策担当秘書。09年衆議院議員。13年Yahoo!Japan政策企画部アドロー。18年4月から現職。

奈良市長



中核市市長会顧問

仲川 げん【なかがわ げん】

1976年生まれ。奈良県出身。98年立命館大学経済学部卒業。同年帝國石油株式会社(現株式会社INPEX)入社。05年奈良NPOセンター事務局長就任。09年7月から現職。

和歌山市長



尾花 正啓【おばな まさひろ】

1953年生まれ。和歌山県出身。80年東京大学工学部卒業。同年和歌山県庁入庁。08年県土整備部道路局長、11年県土整備部技監、12年県土整備部長を経て、13年11月退職。14年8月から現職。

鳥取市長



深澤 義彦【ふかざわ よしひこ】

1953年生まれ。鳥取市出身。77年福井大学工学部卒業。78年鳥取市役所入庁後、秘書課長、市民課課長、総務部次長、行財政改革参事などを歴任。06年鳥取市助役(現鳥取市副市長)に就任。14年4月から現職。

松江市長



中核市市長会副会長

上定 昭仁【うえだ あきひと】

1972年生まれ。95年九州大学法学部卒業。同年日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。01年国土交通省総合政策局係長、17年日本政策投資銀行松江事務所長、19年DBJ America Inc.(米州法人)CEO(最高経営責任者)。21年4月から現職。

倉敷市長



中核市市長会顧問

伊東 香織【いとう かおり】

1966年生まれ。東京大学法学院卒業後、郵政省入省。93年米国ハーバード大学ロースクール修士課程修了。日光郵便局長、総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐等を経て、03年倉敷市総務局長、04年収入役。08年5月から現職。

吳市長



新原 芳明【しんはら よしあき】

1950年生まれ。吳市出身。72年東京大学法学部卒業。同年大蔵省入省。91年在外公使館参考官、02年証券取引等監視委員会事務局長、08年独立行政法人造幣局理事長などを経て、17年11月から現職。(現在2期目)

福山市長



枝広 直幹【えだひろ なおね】

1955年生まれ。福山市出身。80年一橋大学経済学部卒業後、同年大蔵省入省。09年中国財務局長、11年内閣審議官、13年近畿財務局長、14年株式会社ナベシャー取締役兼COOなどを経て、16年9月から現職。(現在2期目)

下関市長



前田 晋太郎【まえだ しんたろう】

1976年生まれ。下関市出身。02年長崎大学水産学部卒業。03年安倍晋三事務所勤務。11年下関市議会議員当選(2期)。17年3月から現職。

高松市長



大西 秀人【おおにし ひでと】

1959年生まれ。香川県出身。82年東京大学法学部卒業。同年自治省入省。89年岐阜県総務課長、95年北海道財政課長、00年島根県総務部長、06年総務省情報通信政策局地域放送課長などを経て、07年5月から現職。

松山市長



野志 克仁【のじ かつひと】

1967年生まれ。松山市出身。90年岡山大学経済学部卒業。同年南海放送(株)にアナウンサーとして入社、アナウンス室マネージャー(部長格)を経て、10年10月退社。同年11月から現職。

高知市長



岡崎 誠也【おかざき せいや】

1953年生まれ。高知県出身。75年青山学院大学経済学部卒業。同年、高知市勤務。03年4月産業振興部副部長産業政策課長事務取扱。同年11月から現職。10年4月から国民健康保険中央会会長。

久留米市長



原口 新五【はらぐち しんご】

1960年生まれ。久留米市出身。83年福岡大学体育学部中退。89年久留米市議会議員(3期)。99年久留米市議会議員辞職。03年久留米市議会議員(5期)。09年から副議長2年、11年から議長4年)。21年久留米市議会議員辞職。22年1月から現職。

長崎市長



鈴木 史朗【すずき しろう】

1967年生まれ。長崎市出身。1991年東京大学法学院卒業。同年、運輸省(現・国土交通省)入省。2017年内閣府地方創生推進事務局総括参事官、2020年第五管区海上保安本部長、2022年九州運輸局長などを経て、2023年4月から現職。

佐世保市長



宮島 大典【みやじま だいしん】

1963年生まれ。佐世保市出身。89年一橋大学社会学部卒業。91年4月長崎県議会議員。98年2月衆議院議員。09年8月衆議院議員。12年7月衆議院総務委員会筆頭理事。同年10月防衛大臣政務官。19年4月長崎県議会議員。23年4月から現職。

大分市長



足立 信也【あだち しんや】

1957年生まれ。大分市出身。82年筑波大学医学専門学群卒業。90年医学博士(筑波大学)。03年筑波大学臨床医学系外科助教授。04年筑波メディカルセンター病院診療部長。04年参議院議員(3期)。11年筑波大学客員教授。05年大分大学客員教授。23年4月から現職。

宮崎市長



清山 知憲【きよやまとものり】

1981年生まれ。宮崎市出身。06年東京大学医学部卒業。08年沖縄県立中部病院初期研修。09年ベイスイスラエルメディカルセンター内科研修。11年宮崎県議会議員(2期)。19年医療法人社団ひなた理事長就任。22年2月から現職。

鹿児島市長



中核市市長会監事
下鶴 隆央【しもつる たかお】

1980年生まれ。鹿児島市出身。04年東京大学法学院卒業。04年IT系コンサルティング会社勤務。11年から鹿児島県議会議員(3期)を経て、20年12月から現職。

那覇市長

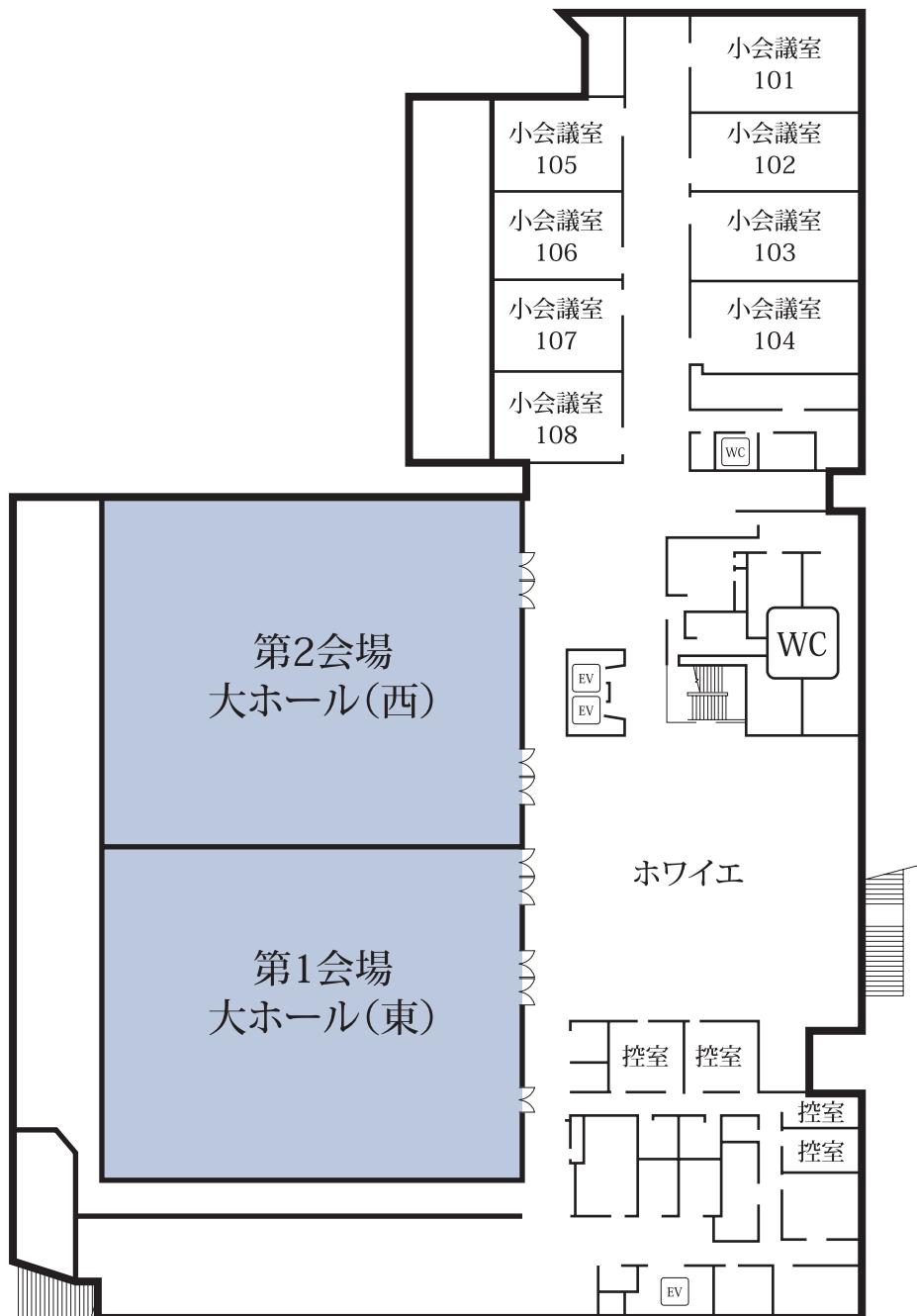


知念 覚【ちねん さとる】

1963年生まれ。那覇市出身。1989年沖縄大学法経学部卒業。1985年那覇市役所入庁後、秘书課広報課長、総務部副部長、総務部長、政策統括調整監を歴任。2015年那覇市副市長に就任。2022年11月から現職。

会場案内図

〈ライトキューブ宇都宮 1階〉
栃木県宇都宮市宮みらい1-20



お問い合わせ 中核市市長会宇都宮市サミット開催事務局(宇都宮市行政経営部行政経営課経営管理室内)

TEL 028-632-5273 FAX 028-632-5425 Mail u05000700@city.utsunomiya.tochigi.jp